

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	泉南市献血推進協議会補助事業					②事業番号	4202
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	昭和 49 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	○ 法令	○ 条例	規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称: 安全な血液製剤の安全供給の確保等に関する法律
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	1	細目 3
⑨担当部名	健康福祉部			⑩担当課名	保健推進課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市献血推進協議会	① 泉南市献血推進協議会 委員数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市献血推進協議会を財政的に補助し、協議会活動と連携し献血や血液製剤に関する教育及び啓発をするともに献血推進組織の育成等を行う。 ・献血に関する普及啓発活動 広報紙、街頭での献血PR ・市役所等での献血	① 会議開催数	回
	② 献血車による献血回数	回
	③ 街頭啓発等	回
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
献血について正しい知識を習得してもらい、献血に協力してもらうことにより安定的に血液を確保する。	① 献血者数	人
	② 啓発人数	人
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
安定的に血液製剤を確保することにより、患者さんの治療に使うことができ、地域医療の充実に貢献できる	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします
	施策中	1 医療環境の充実
	施策小	1 地域医療体制の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	泉南市献血推進協議会 委員数	人	17	17	17	17	17	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	会議開催数	回	1	1	1	1	1	
活動指標②	献血車による献血回数	回	54	58	75	75	75	平成30年度-令和元年度にかけて献血者数が減少したのは、イオンりんくう泉南の店舗内で献血が中止となったため。R2献血者数はイオンりんくう泉南への献血バス出勤回数が増加したため。
活動指標③	街頭啓発等	回	57	63	76	76	76	
成果指標①	献血者数	人	2,295	2,120	3,237	3,237	3,237	
成果指標②	啓発人数	人	5,649	5,689	3,729	3,729	3,729	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.10	0.09	0.03	0.03	0.03	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	千円	811	694	229	229	229	
財源内訳	直接事業費	千円	79	80	79	79	79	—
	総事業費	千円	890	774	308	308	308	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	80	80	79	79	79	—
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	810	694	229	229	229	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	「安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律」(昭和31年)により、献血推進計画に基づいて医療に必要な血液を確保する必要があった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	年間を通して安定した献血者の確保が必要である。大震災等の災害時における血液が確保されるよう、関係機関との連絡調整が必要である。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—